

製造業

- ◇パン…諸経費が上昇しており非常に厳しい。色々なところに気を配り無駄を最小限にしなければ経営は困難になる。景気上昇は我々業界にはまだ見えていない。
- ◇酒…2月の課税移出数量は前年比89.9%と1月を下回った。全国的にも底打ち宣言には至らず。焼酎乙類は1月113.4%、2月92.5%と今年に入ってトータルでは前年を上回っている。政府が「日本産酒類の輸出促進連絡会議」を新設し、3/12の初会合を契機に本格的な環境整備に期待している。
- ◇納豆…大手メーカーとその他中小企業メーカーの二極化が鮮明になりつつある。売上は増収だが、収支は円高のため光熱費や原材料費などの高騰により大幅減益というのが大方の傾向。
- ◇菓子…観梅客の土産品の売上増加を期待したが、いまだ続く風評被害で客足は伸びず期待外れ。また店頭売りも売上が伸びず景況は弱かった。
- ◇繊維製品(袋物)…年度末にきて各社とも売上増加。GW前までかなりの仕事量がある様子。あとは条件面が良くなってくれれば良い。
- ◇繊維製品(縫製)…売上は3月より増加したが、例年並みの需要はなかった。需要が、高価なオーダーカーテンから廉価な均一価格のカーテンへの要請が強くなり収益面は低下傾向。
- ◇木材…円安を背景に外材製品は品薄、値上がりが見られる。木材業界は資材高に直面しているものの価格転嫁が進まず収益が悪化。資材価格が動いているため見積りが難しい品目が生じ、商売がやりにくい状況。
- ◇プレカット…見積りは多いがなかなか成約に繋がらない。資材の価格が10%以上値上がりしている。
- ◇段ボール…先月より少し仕事量が増えてきた。アベノミクス効果からくる円安によって輸出関連に回復の兆しが少し見える。青果物関連は2月同様少なかった。
- ◇焼物…行楽シーズンを迎え、イベントや催しが開催されるが、おもてなしの心を込めてお客様を迎えたい。
- ◇プラスチック製品…親会社の値下げ要請への対応に苦慮した1ヶ月。大手取引先の海外生産比率の増加により、更なる売上高の減少が見込まれ、人員削減を行う企業も出てきている。
- ◇鍍金…景況は、月前半は好調であったが後半になって減少傾向となった。得意先の年度末在庫調整の影響で前年比1~2割減少。金属材料は、基金属並びにニッケル金属等は相変わらず高値で安

定、その他の工業用薬品は大きな変動はない。

- ◇重電…仕事量が減少し売上高に大きく影響している。
- ◇電化機器…当月生産高は951百万円(0.08%増)で、前月比では93百万円増(10.8%)であった。家電関連事業所は生産高が堅調に推移しているのに対し、自動車関連事業所は減少が続いている。
- ◇自動車部品…生産高は過去最悪の状況で改善の兆しが見られない。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中1社が売上増で、全体では前年同月比98%。仕事量は前年同月より少なめとなっている。得意先の市場動向は悪くないが、海外生産や海外調達により、我々国内の中小協力企業の仕事量動向には直接結びつかないので、新年度以降も先が見通せない状況である。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は、対前年比10%の減少。前々年比では横這い。震災の復旧工事はまだ残っているが、確実に減少してきている。
- ◇水産卸…精算所取扱高は営業日が2日少なかった事により前年同月比3.46%の減。市場内は消費低迷により厳しい状況が続いている。
- ◇食品卸売…野菜、果実とも厳しい販売状況が続いている。震災後消費者の食に関する嗜好の変化を感じる。
- ◇県南地区卸売…全体的に見て厳しい状況下におかれている。
- ◇県北地区共同店舗…震災復興事業として「元気なまちづくりフォト展」を開催し、被災事業所の現状報告と地域貢献をアピールした。
- ◇県央地区共同店舗…セール前倒しや新店舗効果により衣料品はなんとか昨年度売上を確保したが、全館としては厳しかった。個人消費は上がっていないが、夏に向かって客単価、売上増加に期待したい。
- ◇県南地区共同店舗…中旬に広域型超大型店がグランドオープンし、春休みシーズンと重なったため、来客が大幅に減少。特にアミューズメント関連の落ち込みが大きかった。
- ◇家電…花粉飛散やPM2.5問題などで空気清浄機、布団乾燥機、乾燥機付洗濯機が順調に売上を伸ばした。LEDシーリングライトも好調。大半の店では前月比売上が落ち込んでいるが、工事部門を持つ店はやや持ち直してきており太陽光発電、リフォーム等に力を入れて取り組もうとしている。
- ◇中古自動車…オークションは出品台数、成約台数ともに前年同期に比べ10%の伸びを示し、収益も好転。
- ◇石油…原油高、円安の影響によりガソリンの販売

価格は前年同月比12円上昇しており、仕入価格の値上がり分を完全に転嫁できず、県内全域で安値販売競争が激化しており、収益は更に悪化し、廃業・休業等に追い込まれる組合員が増えている。

- ◇**商店街(日立)**…商店街区の中で物販店が減少し、反面、飲食店が多くなってきた。
- ◇**ホテル旅館**…県北、海沿いの旅館は、他県からの観光宿泊客が戻ってきていない。水戸・つくばの観梅客は、前半は天候不良により懸念されたが、まずまずだったようである。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は前年同月比普通車97.0%、軽自動車は98.4%でともに減少。
- ◇**総合建設**…年度末工事は例年通り追い込み工事となり、組合員企業は休日返上で工事にあたった。4月に入り手持ち工事も半減かそれ以下。不採算工事で内部留保も減少、災害復旧工事で建設業は潤っていると言われているが実情は逆。
- ◇**交通安全施設**…労務費の急激な上昇が懸念される。
- ◇**県北地区運輸**…年度末でも主要顧客の出荷物量は前年度より減少。燃料価格は高止まりしており、収益は厳しい状況。

◇**県央地区運輸**…東北方面への建材・電柱・コンクリート等の荷が多かった。引越し、雑貨、一般生活用品、食品、飲料水は平年通り。季節物で農耕機の動きは良かった。軽油は高止まりで経営は苦しいまま。

H25.3月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業		▲	33.3	▲	50.0
その他製造業		▲	35.0	▲	45.0
卸売業		▲	75.0	▲	50.0
小売業(商店街を含む)		▲	36.4	▲	36.4
サービス業		▲	50.0	▲	50.0
建設業		▲	40.0	▲	40.0
運輸業			0.0	▲	50.0
全体		▲	38.0	▲	44.0

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

ご存知ですか？中央会の共済制度！



この様な方はぜひお気軽にお問い合わせください。

- 社長・役員死亡保障や退職金の準備をしたい
 - 現在ご加入の生命保険の見直しを考えている
 - 従業員に生活設計のための自助努力を促したい
- 等

保険料が割安なおすすめプラン

☆ 経営者または事業主の方は ➡ 「オーナーズプラン」

☆ 役員または従業員の方は ➡ 「パートナーズプラン」

※月払契約の場合、「団体扱」となり「一般扱」(口座振替月払等)でご契約いただくよりも保険料が割安になります。

<お問い合わせ> 三井生命保険株式会社 茨城支社
茨城県水戸市大町1-2-6 三井生命ビル1階
029-224-3132

B-25-1027 (H25.4) 使用期限H26.3